

地域づくり講演会 地域の意味を考える



市内各地から参加者約100人が集まりました



講師の澁澤さんと意見交換する参加者



中和地域の事例発表の様子

9月29日、勝山文化センターで地域づくり講演会が開催されました。真庭なりわい塾塾長を務める澁澤寿一さんの講演「今という時代く地域の意味を考える」や中和地域づくり委員会の大美康雄さんから中和地域での取り組みについて事例発表がありました。閉会后には茶話会もあり、参加者は地域について考えを深めたり、意見交換を行ったりしました。真庭市では、今後の地域づくりについて、住民の皆さんと共に検討していくため、各地域づくり委員会と協議をすすめています。

LGBT講演会
誰もが過ごしやすいまちづくりを

10月13日、勝山文化センターでLGBT講演会が開催され、約120人が参加しました。『LGBT』とは、レズビアン、ゲイ、バイセクシユアル、トランスジェンダーの総称語。20歳の時に性別を女性から男性へ変更した山口颯一さんが、性別に関するクイズや自身の体験談を交えながら、性の多様性について紹介しました。山口さんは「誰もが過ごしやすいまちづくり」を呼びかけ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



山口颯一さんの講演会の様子



北房ほたる公園前を走行する参加者たち

**自転車を活用した健康づくり
爽やかサイクリング**

9月23日と10月14日に、自転車を活用した健康づくり教室in北房が北房文化センターで開催されました。1回目は15人の参加者が、健康教室や交通安全教室を受講した後、自転車に乗り、皆部方面へ約8歳のサイクリングを行いました。2回目は14人の参加者が、屋内での筋力トレーニングやストレッチなどについて学習したほか、中津井方面へ約11歳のサイクリング。秋の風を感じながら、爽やかな汗を流しました。



市政に関する動きの一部を紹介します

10/18 より良い睡眠を学ぶ

眠育に取り組む月田小学校で、兵庫教育大学の田村典久助教を講師に迎え「睡眠で育む、脳とこころの健康～よい眠りには福来たる～」と題した講演会が開催され、保護者や地域住民らが、睡眠について学習しました。



10/19 総社市へ「おひつの家」を貸与

7月豪雨被災地支援として、被災者へのリラック効果効果が期待できる「おひつの家」を貸与する引渡式が総社市で行われました。地域の「安全安心ほっとステーション」として活用され、貸与期間は2年の予定です。



市長室から
こんにちは!

真庭の「元気」に確信を持って

10月前半は、相次ぐ台風や豪雨の影響で、真庭市内各地のイベントが中止になり、実りの秋に向けて丹精込めて作った、果物、野菜などを販売しようとした方々には残念で気の毒なことになりました。そのような厳しい状況の中でも開催できたイベントもあり、私も可能な限り市内各地を回ることになりました。

その中で、真庭には農産物は勿論、最近製造した物を含め素晴らしい産物が沢山あること、地域に活力をと頑張っている人が大勢いることを誇りに思いました。

このような現地の様子や頑張っている方々とお話をする度に、もっともっと現地現場に入り、虚心坦懐に耳を傾けて学ばなければ、市長としてもっと頑張らなければとの思いを強くします。人口減少時代に、何かすぐ解決策が出ることは少ないですが、バイオマス産業都市の取組、各地の地域資源を活かす取組を進めていけば、必ずや活路が見いだせるものと確信しています。

現に、これまでの頑張り、「里山資本主義」の成果が数字に表れています。製造品出荷額、商工会員数、市税収入、企業進出、新商品の開発、アグリネットの販売額など…。厳しい環境の農山村都市としては「元気」だと、全国では注目され、評価されています。

市民の方々とともに、「SDGs未来都市」を目指して少子高齢化に立ち向かうならば、真庭の「元気」を市民の皆さんがもっと実感できる時が必ず来るものと確信しています。

ともに、頑張ってくださいませ。



キーワードを挙げながら行われたパネルディスカッション

**持続可能な地域構造フォーラム
集落⇩都市の新たな繋がりを考える**
10月16日、勝山文化センターで中山間地域（集落）と都市の新たな繋がりを考える「持続可能な地域構造フォーラム」（主催：国土交通省、共催：真庭市など）が開催されました。（二社）持続可能な地域社会総合研究所の藤山浩所長による「集落と都市をつなぐ、重層的な循環圏構想に向けて」と題した基調講演や真庭市を含む各地の取組事例紹介、パネルディスカッションが行われ、参加者約220名が聞き入っていました。



山乗溪谷で生き物を探して探検

**中和小学校と小串小学校の交流学習
旭川の上流と下流で地域を学ぶ**
旭川の上流域にある中和小学校では、地域の自然、人、文化などを学ぶ「中和いきいき学習」を行っており、今年度は旭川をテーマに流域の学校と連携し交流学習を展開しています。10月17日には、下流域の岡山市立小串小学校から5人の児童を迎え、中和小学校3・4年生の児童9人が地域の名所や自然などを発表形式で紹介したり、山乗溪谷を探検して、小串地域では見られない生物を見たりと、地域の自然を学びました。